

Culetmieuller TS

取扱説明書

【シェルモードベビーカー・ノーマルモードベビーカー編】

（ベビーシート、ベビーキャリー、ロッキングチェアの使いかた、およびお手入れ方法等は、別冊のベビーシート用取扱説明書をご覧ください）

コンビ ベビーカー キューレットミューラー TS

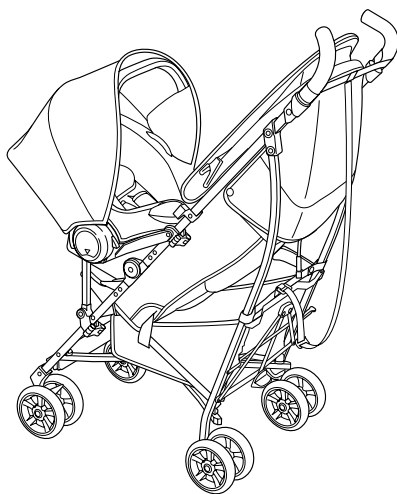
品質保証書付

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

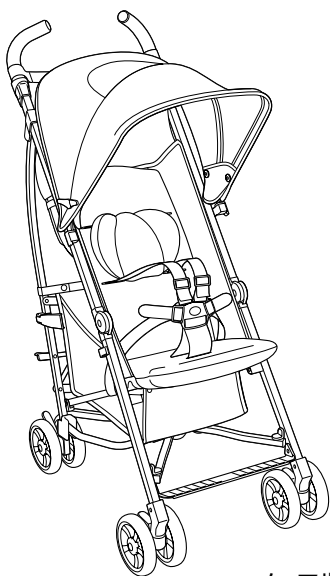
■本書は大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



シェルモードベビーカー



ノーマルモードベビーカー

もくじ

はじめに

ご使用前に	2
安全にご使用いただくために	4
各部のなまえ	7

ベビーカーの準備

ベビーカーの開きかた	8
幌の使いかた	9
キャスターの使いかた	11
ストッパーの使いかた	11
折りたたみかた	11
自立スタンドの使いかた	12
ショルダーストラップの取り扱いかた	13
買い物カゴの取り扱いかた	13

シェルモードベビーカーの使いかた

ベビーカー本体への取り付けかた	14
幌の使いかた	16
ベビーシートの取りはずしかた	16
アタッチメントの取り扱いかた	17
シート汚れ防止カバーの取り扱いかた	19

ノーマルモードベビーカーの使いかた

シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた ...	20
リクライニングシートの使いかた	24
着脱シートの取り扱いかた	25
ヘッドパッドの取り扱いかた	27

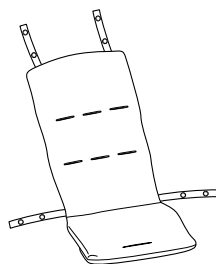
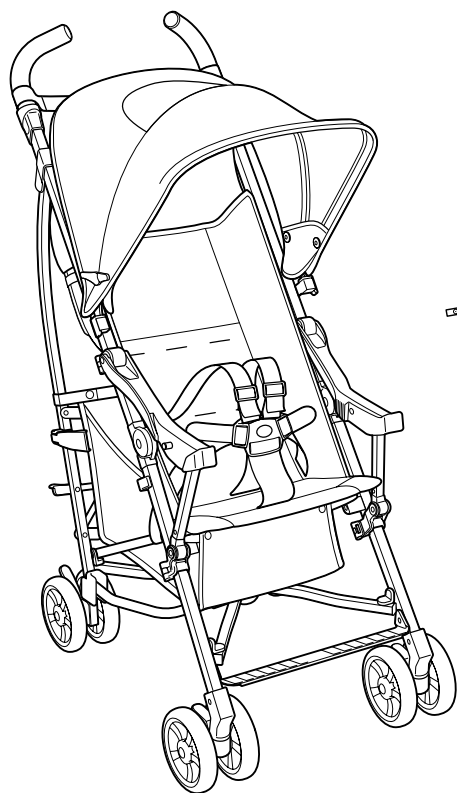
その他

日常のお手入れ	28
保管のしかた	28
点検とアフターサービスについて	28
廃棄方法について	28
品質保証書	29
便利なオプション(別売り)	30

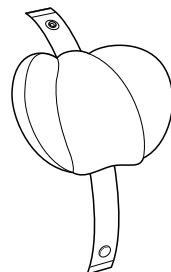
開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

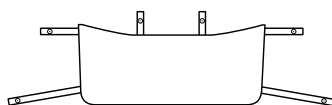
- ベビーカー本体
- 着脱シート
- ヘッドパッド(梱包時には着脱シートに取り付けてあります。)
- ベビーカー用取扱説明書(本書)
- シート汚れ防止カバー
- ベビーシート本体
- ベビーシート用取扱説明書



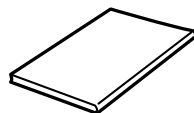
着脱シート



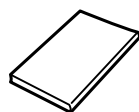
ヘッドパッド
※ベビーカー用エッグショック
パッド入り



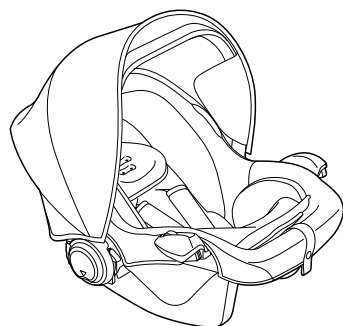
シート汚れ防止カバー



ベビーカー用
取扱説明書(本書)



ベビーシート用
取扱説明書



ベビーシート本体
(インナークッション・幌付き)
※インナークッションのヘッドサポート
にベビーシート用エッグショックパッド
が入っています。

ベビーカー本体
(アタッチメント・幌・幌内カバー・ショルダーストラップ・
買い物カゴ付き)

- 組み立てる前に、29ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
- ① ロットNo.(ベビーカーの後ステアに貼ってあるシールに記載されています。)
(ベビーシートのロットNo.はベビーシート用取扱説明書をご覧ください。)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名
- 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。

ご使用の前に

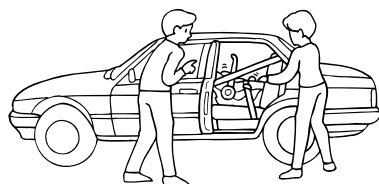
本製品には、下記の使用目的があります。

- シェルモード、ノーマルモードは一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
- ベビーシートは交通事故などの場合、傷害を軽減することを目的とした乳幼児用シートです。
- ベビーシートは、ベビーキャリア、ロッキングチェアとしても使えます。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内

1 シェルモード(対面式)として



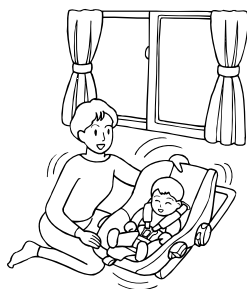
2 ベビーシートとして



3 ベビーキャリアとして



4 ロッキングチェアとして



5 ノーマルモード(背面式)として



1 2 3 は次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- 体重：10kg未満のお子さま(参考月齢…新生児*～12ヵ月ころ)
- 身長：76cm以下で、ベビーシートに乗せ、**頭頂部が本体から上に出ない**お子さま

4 は次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

[チェア]

- 体重：10kg未満のお子さま(参考月齢…新生児*～12ヵ月ころ)
 - 身長：76cm以下で、ベビーシートに乗せ、**頭頂部が本体から上に出ない**お子さま
- [ロッキングチェア]
- 首すわり(生後3～5ヵ月ころ)** 以降9kg未満(10ヵ月ころ)のお子さま

5 は次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- 首すわり(生後3～5ヵ月ころ)** 以降48ヵ月ころまでのお子さま(お子さまの体重の目安18kg以下)

* 新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上

** ロッキングチェアとノーマルモードは、お子さまの首がしっかりとすわってから使用できます。
(首のすわる時期や体重はお子さまの発育により個人差があります。)

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。

ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

- イラストにかかわらず、シェルモード・ノーマルモード共通の警告・注意事項です。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

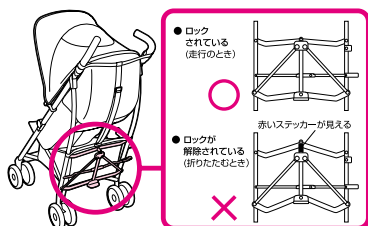
	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明
---	------

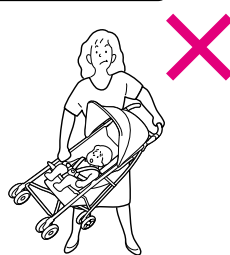
警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

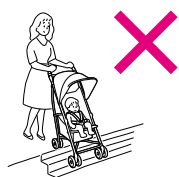
- 開閉ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。



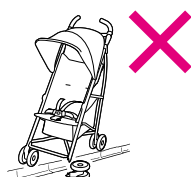
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。



- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



ベビーシートがはずれ、お子さまが落ちるおそれがあります。

- ベビーシートを着脱するときは、ベビーカーの背もたれを1番倒した状態にして取り付けてください。
- ベビーシートを着脱するときは、ベビーシートのハンドルを倒した状態で行わないでください。
- ベビーシートは、ベビーカーの進行方向に対して、必ず後ろ向きに取り付けてください。
- アタッチメントや取り付けガイドに破損などの異常がないことを、取り付ける前と、取りはずしたときに確認してください。取り付けたときにアタッチメントがはずれて、ベビーシートが落ちるおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときは、アタッチメントが確実にロックされていることを確認してください。
- アタッチメントは必ず左右とも取り付けてください。ベビーシートが正しく取り付けられず、落ちるおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときには必ずベビーカー本体のシートベルトのバックルをとめてください。間にシートベルトがはさまり取り付けが不完全になるなど、お子さまが落ちるおそれがあります。
- ベビーシート取り付け後、確実にロックされていることを確認してから使用してください。
- ベビーシートの背もたれに強い荷重をかけないでください。

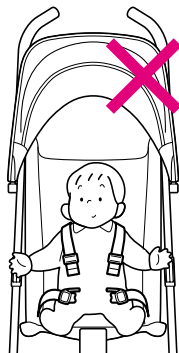


警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。

●シートベルトを過信しないでください。お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。また、お子さまの月齢が高くなるにつれ自分の力でシートベルトをはずすおそれがあります。常にお子さまの状態を確認してご使用ください。



●シェルモードのときは、幼児ベルトを必ず締めて使用してください。

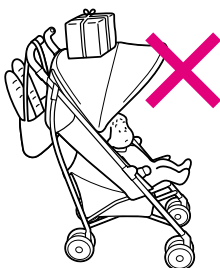


●お子さまをベビーカーの上
に立たせないでください。

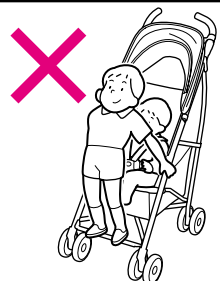


**ベビーカーが転倒してお子さまが
落ちるおそれがあります。**

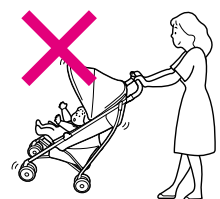
●お子さまを乗せているとき、カゴと、別売の専用バッグ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。



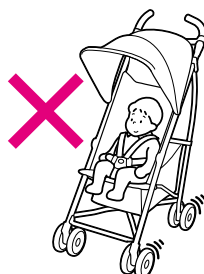
●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。



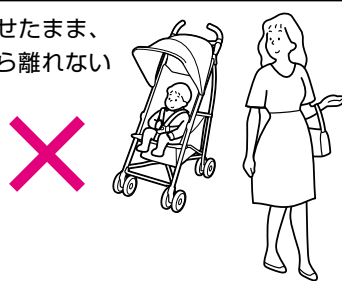
●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

**ベビーカーが動き出したり
転倒するおそれがあります。**

●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。



●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまがケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時およびベビーシートを取り付けるときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ベビーカーを開いたり折りたたんだりするときは、ステーやアタッチメントに触れないでください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ベビーシートを取り付けるときは、お子さまが手を外に出していないことを確認してから行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ベビーシートのハンドルに過度の力を加えないでください。ハンドルが破損し、本来の機能を果たさず危険をまねくおそれがあります。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、ベビーシートとベビーカーの間に指をはさんだりするおそれがあります。シェルモードで使うときは、常にお子さまの状態を確認してください。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- アタッチメントを使用しないときは、お子さまの目の届かないところに保管してください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 当社指定の別売オプション品以外の製品を取り付けしないでください。ベビーカーが不安定になったり、お子さまの拘束が不完全になるなど重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

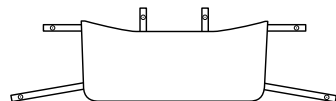
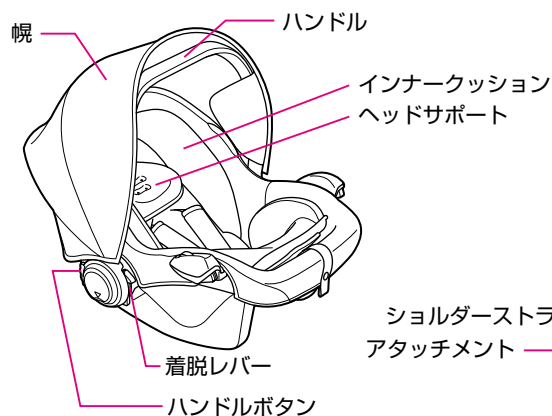
- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- お子さまを乗せたとき、幼児ベルト(シェルモード)またはシートベルト(ノーマルモード)がバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- ノーマルモードで使用する時、おすわりができないお子さまの場合は、ヘッドパッドを必ず装着し、リクライニングを倒した状態でご使用ください。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- 当社指定の別売オプション品以外の製品を取り付けしないでください。破損の原因となります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用の前に、締結部品にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

各部のなまえ

取りはずしてある部品は本文をよく読んで正しく取り付けてください。

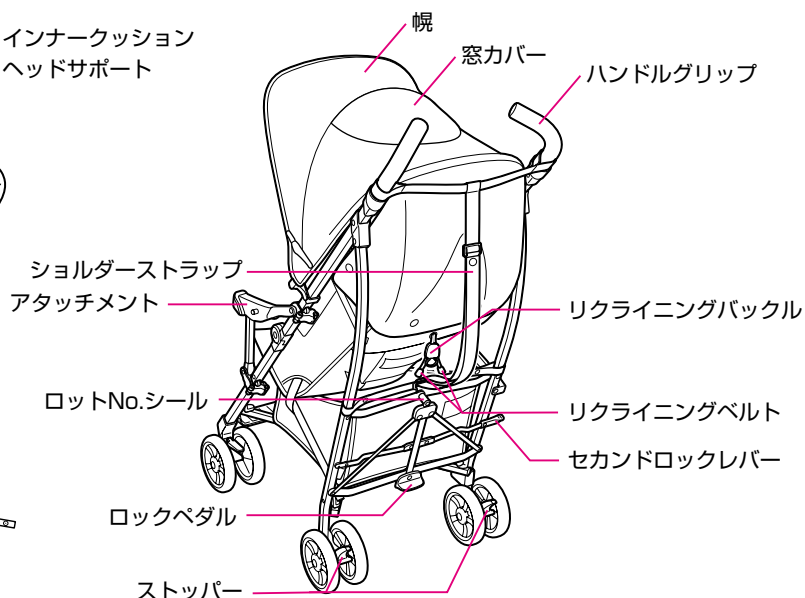
<シェルモードベビーカー>

ベビーシート本体



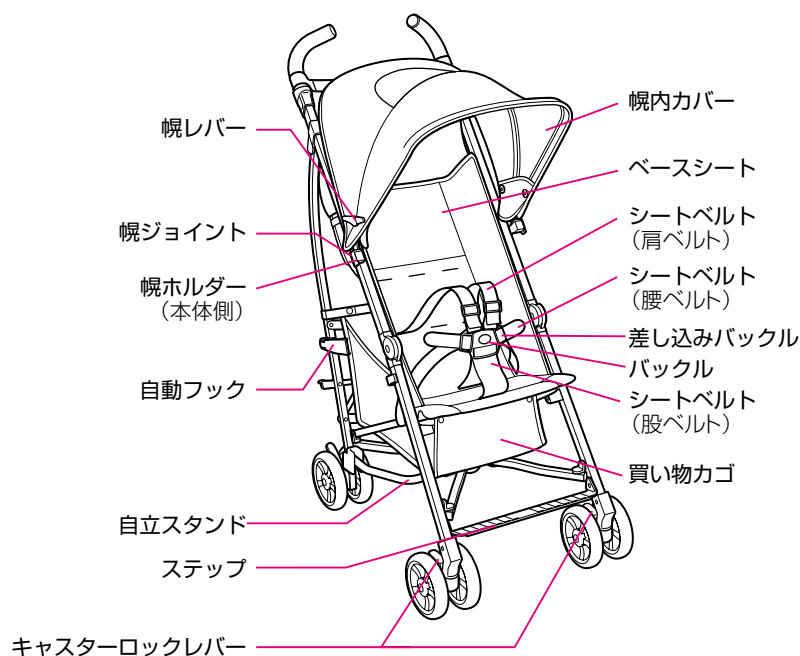
シート汚れ防止カバー

ベビーカー本体

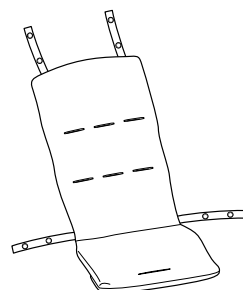
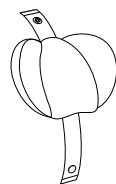


<ノーマルモードベビーカー>

ベビーカー本体



ヘッドパッド



着脱シート

ベビーカーの準備

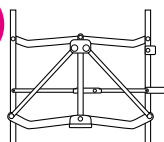
ここではシェルモードベビーカー・ノーマルモードベビーカー共通の使い方を説明します。

ベビーカーの開きかた

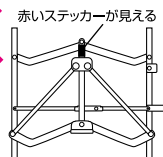
警告

- ・ベビーカーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・ベビーカーを開くときは、ステーに触れないでください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。(右図参照)

●ロックされている
(走行のとき)



●ロックが解除されている
(折りたたむとき)



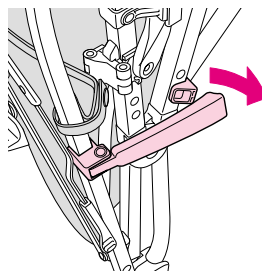
注意

- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・使用する前に、自立スタンドが収納されていることを確認してください。使用中に地面等に当たり、破損するおそれがあります。

1. 自動フック(本体横のプラスチックのレバー)をはずします。

注意

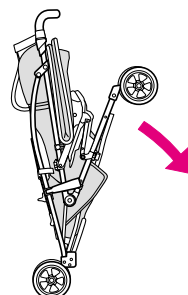
自動フックを必要以上に引っばらないでください。
自動フックが破損するおそれがあります。



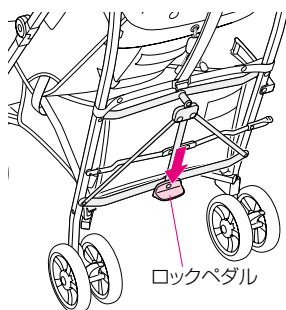
2. ハンドルグリップを握りながら、前車輪をおろし、ベビーカーを開きます。

警告

自動フックをはずす際に、前車輪が急に落下し、ベビーカーが開くことがあります。そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだり、前車輪がぶつかってケガをするおそれがあります。



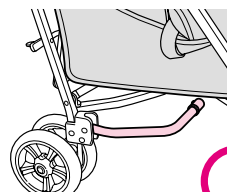
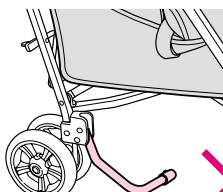
3. ロックペダルを足で押し下げて開閉ロックをかけます。



ロックペダル

注意

自立スタンドは、ベビーカーを開くと、自動的に収納されますが、使用する前に収納されていることを確認してください。



※ノーマルモードベビーカーとして使用する場合は、アタッチメントを取りはずしてください。取りはずしかたは、17ページをご覧ください。(次ページ以降の説明では、アタッチメントを取りはずした状態のイラストを使用しています。)

幌の使いかた

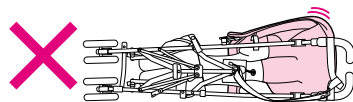
幌は梱包時にはベビーカー本体に取り付けてあります。



幌を開いたり折りたたんだりするときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。



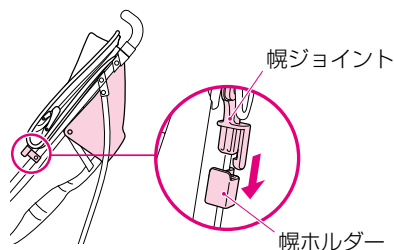
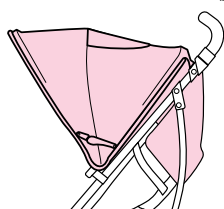
保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きにねかせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。



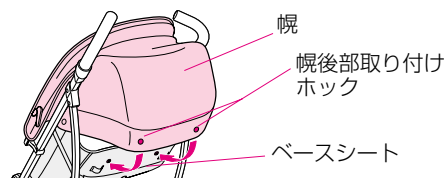
取り付けかた

1. 幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。

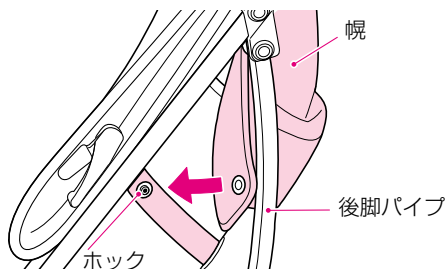
前 後



2. 後方の2カ所のホックを、ベースシートの裏面をとめる。



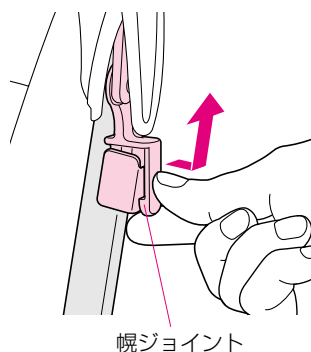
3. 左右側面2カ所のホックをとめる。



※幌が後脚パイプの内側になるようにホックをとめる。

はずしかた

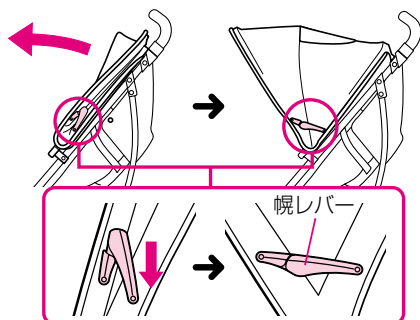
4カ所のホックをはずし、幌ジョイントの下端を外側に開きながら、引き抜く。



使いかた

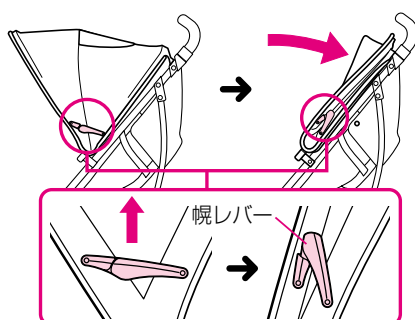
幌を使うときは

幌を前に広げ、左右の幌レバーの関節部を押し下げる。



幌を収納するときは

左右の幌レバーの関節部を引き上げ、幌を後側にまとめる。

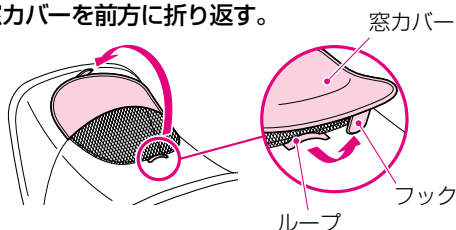


トップウィンドー(幌窓)の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまのようすが見やすくなります。

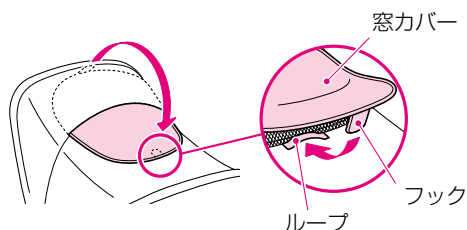
幌窓を開くとき

1. 窓カバーのフックをループからはずす。
2. 窓カバーを前方に折り返す。



幌窓を閉じるとき

窓カバーのフックをループの後側から差し込む。



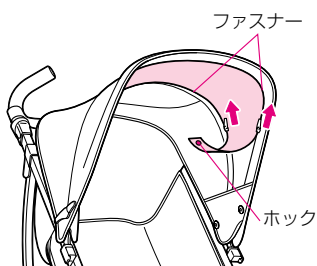
トップウィンドーだけでなく、直接お子さまの様子を見るなど、常にお子さまの状態を確認してください。

幌内カバーの取り扱いかた

ベビーカーを折りたたんだときに、車輪により幌の内側が汚れることがあります。幌内カバーのみ取りはずして洗濯することができます。

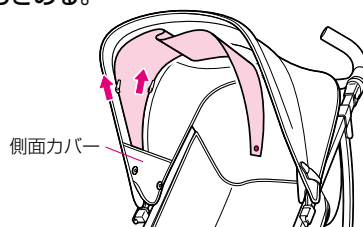
取りはずしかた

1. 幌内カバー左右にあるホックをはずす。
2. 前後のファスナーを開く。



取り付けかた

1. 前後のファスナーを閉じる。
※必ず前後ともファスナーを閉じてください。
2. 左右のホックをとめ、先端部を側面カバーの内側におさめる。



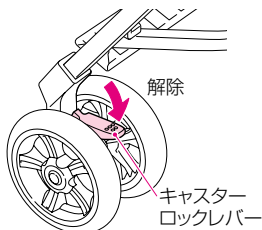
※幌内カバーは前後をまちがえると取り付けできません。

キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。

キャスターを使用する場合

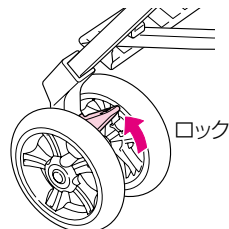
キャスターロックレバーを下げ、
ロックを解除する。



キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターを
ロックする。

キャスターを進行方向に対して真後ろになる位置に
合わせてキャスターロックレバーを上げます。



ストッパーの使いかた



- ・ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



- ・空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。
- ・ベビーカーを折りたたんで自立させるときには、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。

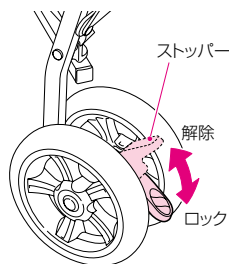
ベビーカーを停止させるときや折りたたんで自立させるときは、必ずストッパーのロックをかけてください。
ベビシートを着脱するときは、必ずストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーの
ロックがかかっていることを確認する。

ストッパーのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



折りたたみかた

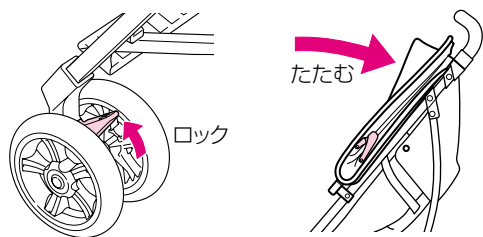


- ・ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・ベビーカーを折りたたむときは、ステーやアタッチメントに触れないでください。指や手をはさんだりするおそれがあります。



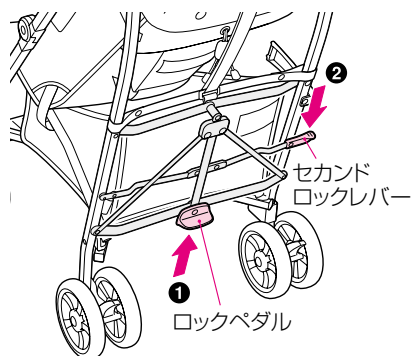
- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ・折りたたむ前に、重い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- ・折りたたむ前に、幌が完全にたたまれ後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- ・自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶつけたり、引きずったりしないようにしてください。自立が不安定になったり破損するおそれがあります。

1. 左右のキャスターをロックし、幌をたたむ。



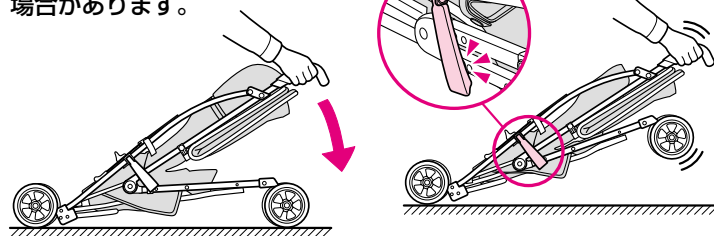
2. ハンドルグリップを手で握りながら、

- ① ロックペダルを足で押し上げるか、ショルダーストラップを引き上げて、ファーストロックを解除する。
- ② セカンドロックレバーを足で押し下げて、セカンドロックを解除する。



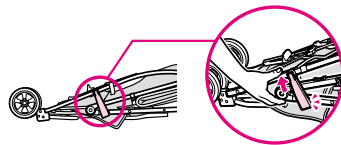
3. ハンドルグリップが前車輪に近づくように、自動フックのロックがかかるまで押し下げる。着脱シートを取り付けていると、多少ロックがかかりづらい場合があります。

4. ハンドルグリップを持ち上げ、自動フックのロックがかかり開かないことを確認する。



・シェルモードで使用する時、アタッチメントを取り付けているとベビーカーの折りたたみが通常時より固くなります。図の矢印の部分を手で上げ、確実に自動フックのロックをかけてください。

・ノーマルモードで使用するときにヘッドパッドが1番低い位置に取り付けてあると、自動フックのロックがかかりづらい場合があります。その場合はヘッドパッドの位置を上げてから折りたたんでください。



自立スタンドの使いかた



警告

自立させているときに、ハンドルに過度の荷重をかけないでください。
自立スタンドのロックがはずれ転倒するおそれがあります。

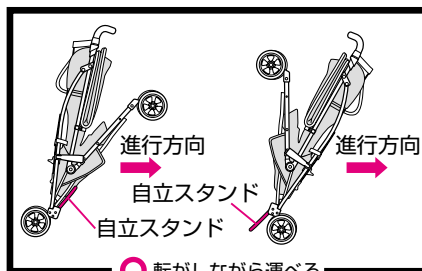
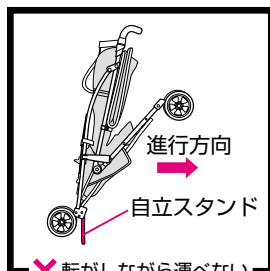
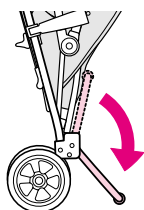


注意

- ・自立させるときには、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。
- ・傾斜や凹凸のある不安定な場所では立たせないでください。ベビーカーが倒れるおそれがあります。
- ・周囲に人のいないところで立たせてください。人や物がぶつくと倒れるおそれがあります。
- ・ベビーカーを開いたときは、自立スタンドが収納されていることを確認してください。使用中に地面等に当たり、破損するおそれがあります。
- ・転がして運ぶときは、自立スタンドを収納するか、進行方向に対してベビーカーが後向きになるようにしてください。自立スタンドが地面等に当たり、破損するおそれがあります。

折りたたんだ状態で**ストッパー**をかけ、自立スタンドを出すと、ベビーカーを一時的に自立させることができます。

保管する場合は、ストッパーをかけて立てかけるか、車輪を下にして寝かせてください。
ベビーカーを開くと、自立スタンドは自動的に収納されます。



ショルダーストラップの取り扱いかた

ショルダーストラップは梱包時には、ベビーカー本体に取り付けてあります。ベビーカーを折りたたんだとき、ショルダーストラップを使えば、肩にかけて持ち運ぶことができます。



警告

・ベビーカーを使用するときは、ショルダーストラップを引き上げないでください。ロックが解除された状態になり、ベビーカーが破損したり、急に折りたたまれるおそれがあります。

注意

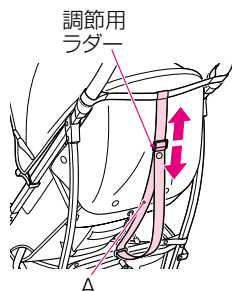
・ショルダーストラップは必ずベビーカーに取り付けてご使用ください。ハンドルに過度の力が加わった場合、ハンドルが左右にひろがりベビーカーが破損するおそれがあります。
・タイヤが汚れているときにショルダーストラップを使用すると、衣類を汚すことがありますので、使用する前に汚れを落としてください。
・混雑した場所では、周りの人の迷惑になることがありますので、使用しないください。
・周りの人や物に引っかかるおそれがありますので、肩にかけるときは自立スタンドを収納してください。
・折りたたんだ状態で強く振ったり、ゆすったりしないでください。ベビーカーが開き、ご使用者や周りの人がケガをするおそれがあります。

長さ調節のしかた

【長くするとき】
調節用ラダーを下げる。

【短くするとき】
ショルダーストラップのA部分を押さえながら調節用ラダーを上げる。

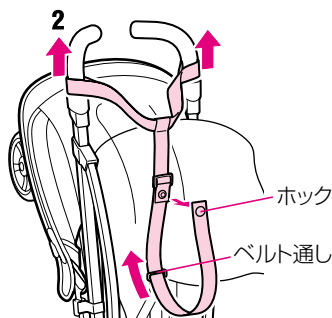
※A部分を押さえないと、ロックが解除されます。



取りはずしかた

ベビーカーを折りたたみます。

1. 調節用ラダー下のホックをはずし、ベルト通しから抜き取る。
2. 左右のハンドルグリップから抜き取る。



取り付けかた

ベビーカーを折りたたんで、左記取りはずしかたの逆の順に取り付けてください。

※ショルダーストラップの輪の部分はハンドルグリップの根元まで確実に通してください。

※輪の部分のとなりのループは別売の専用バッグを取り付けるためのものです。



買い物カゴの取り扱いかた

買い物カゴは梱包時には、ベビーカー本体に取り付けてあります。

注意

・5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
・ガラス製品や割れやすいものは入れないでください。破損するおそれがあります。
・角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。カゴの変形および破れの原因となります。
・ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

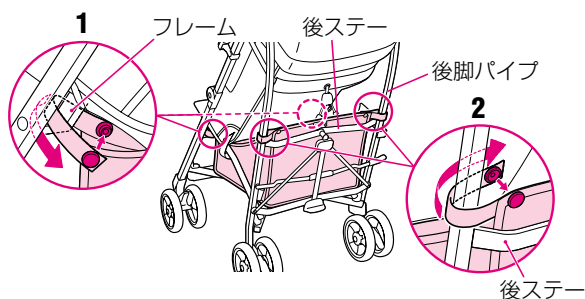
※荷物はできるだけカゴの底に均等に荷重が加わるように入れてください。

※カゴは前後左右4カ所のホックをはずせば取りはずすことができます。

取り付けかた

1. カゴの前部にある2カ所の固定用ベルトを、シート下部の左右にあるフレームに巻いてホックをとめる。
2. カゴの後部にある2カ所の固定用ベルトを、後脚パイプに後ろ側から巻いてホックをとめる。

※必ず後ステーの上側でとめてください。



シェルモードベビーカーの使いかた

ここからは、ベビーシートをベビーカー本体に組み合わせて使う方法を説明します。



ベビーカー本体への取り付けかた

警告

- ・ベビーカーの背もたれを必ず1番倒した状態にしてベビーシートを取り付けてください。取り付けたときにロックが不完全になるおそれがあります。
- ・ベビーシートを取り付けるときは、アタッチメントが確実にロックされていることを引っぱって確認してください。ベビーシートがはずれてお子さまが落ちるおそれがあります。
- ・ベビーシートを取り付けるときは、ベビーシートのハンドルを倒した状態では行わないでください。バランスを崩して落ちるおそれがあります。
- ・ベビーシートはベビーカーの進行方向に対して、必ず後ろ向きに取り付けてください。方向が逆ですと固定されずにお子さまが落ちるおそれがあります。
- ・ベビーシートを取り付けるときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・ベビーシートを取り付けるときは、お子さまが手を外に出していないことを確認してから行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・取り付け後、ベビーシートを軽く持ち上げて、確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。お子さまが落ちるおそれがあります。
- ・お子さまは思わぬ動作をしますので、ベビーシートとベビーカーの間に指をはさんだりするおそれがあります。常にお子さまの状態を確認してください。
- ・ベビーシートの背もたれに強い荷重をかけないでください。ベビーシートがはずれ、お子さまが落ちるおそれがあります。
- ・ベビーシートを取り付けるときには必ずベビーカー本体のシートベルトのバックルをとめてください。間にシートベルトがはさまり取り付けが不完全になるなど、お子さまが落ちるおそれがあります。

注意

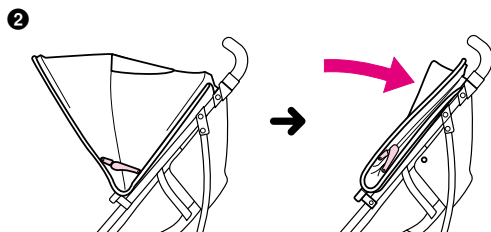
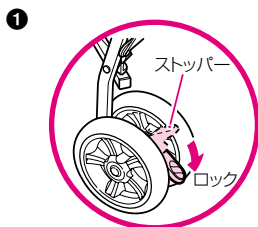
ベビーシートを取り付けるときは、必ずヘッドパッドを取りはずしてください。ヘッドパッドが変形し、本来の機能を果たさなくなるおそれがあります。

1. ベビーシートを取り付ける前に下記の状態を確認してください。

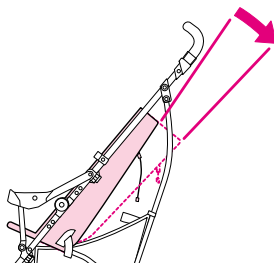
- ・ベビーカーを開き、開閉ロックが確実にかかっていること。
- ・自立スタンドが収納されていること。
- ・ヘッドパッドが取りはずしてあること。
- ・アタッチメントが正しく取り付けられていること。(引っぱって確認)

※アタッチメントは梱包時にはベビーカー本体に取り付けてあります。取りはずした場合は、18ページをご覧ください。

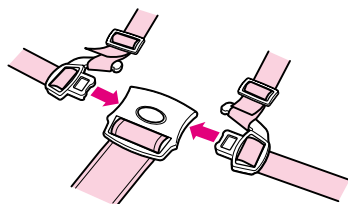
2. ①左右のストッパーをロックする。 ②幌が開いているときは、幌を後部にまとめる。



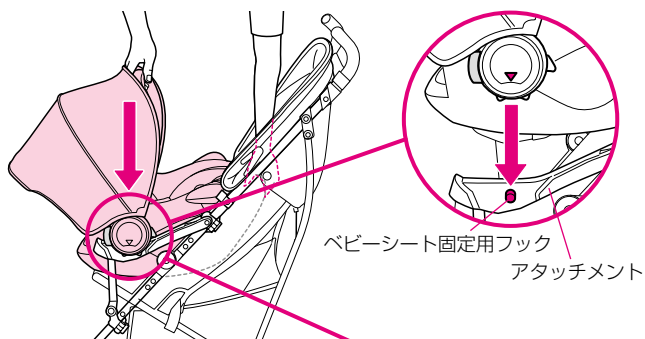
3. 背もたれが起きているときは、1番倒した状態にする。(24ページをご覧ください。)



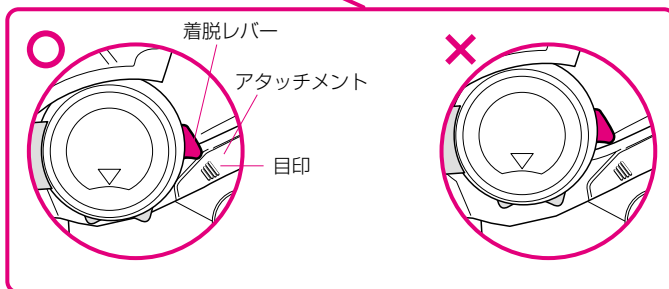
4. シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)のバックルをとめる。(20ページをご覧ください。)



5. ベビーシートのハンドルと前端を持ち、ベビーカーの進行方向に対して後ろ向きにし、ベビーカー本体の真上から、左右のアタッチメントのベビーシート固定用フックへ確実に押し込む。



取り付け後、真横から見て着脱レバーの先端が、左右ともアタッチメントの目印の範囲に入っていることを確認してください。



6. ベビーシートを軽く持ち上げ、左右のベビーシート固定用フックが確実にロックされている（はずれない）ことを確認する。

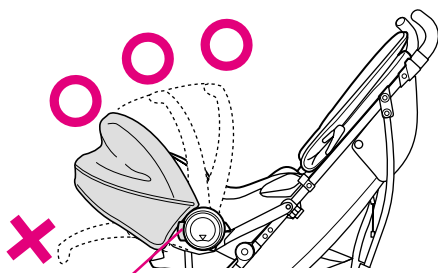
幌の使いかた



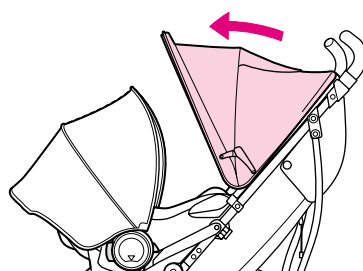
・ベビーシートのハンドルに過度の力を加えないでください。ハンドルが破損し、本来の機能を果たさず危険をまねくおそれがあります。

- ❶ ベビーシートの幌は、図の位置3段階で使用できます。

- ❷ 日差しの向きによっては、ベビーカー本体の幌も広げてください。



左右のハンドルボタンを同時に押しながら回転させます。

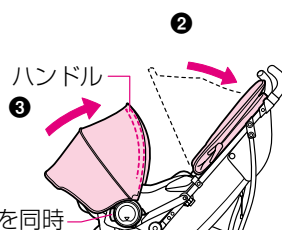
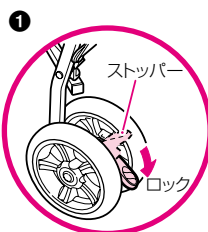


ベビーシートの取りはずしかた



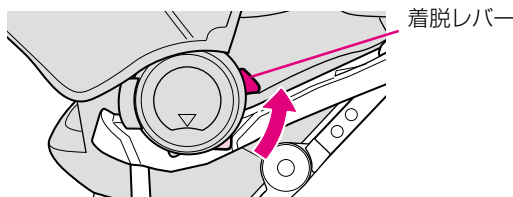
ロックを解除する前にハンドルを立ててください。ロック解除後にハンドルを立てる操作を行うと、バランスをくずしてベビーシートが落ちるおそれがあります。

- ❶ 左右のストッパーをロックする。
- ❷ ベビーカーの幌が開いているときは、幌を後部にまとめる。
- ❸ ベビーシートのハンドルをもっとも立てた位置にする。

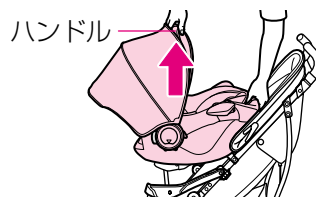


左右のハンドルボタンを同時に押しながら回転させます。

2. 左右の着脱レバーを、とまるまで引上げロックを解除する。



3. ベビーシートのハンドルと前端を持ち、ベビーシートを真上に引上げて、ベビーカーからはずす。



アタッチメントの取り扱いかた

梱包時にはベビーカー本体に取り付けてあります。

ノーマルモードベビーカーとして使用するときには、アタッチメントをベビーカー本体から取りはずしてください。アタッチメントのロックは、ベビーシートの脱落防止のため、簡単にはずれないよう固めに設定しています。

アタッチメントの取りはずしかた



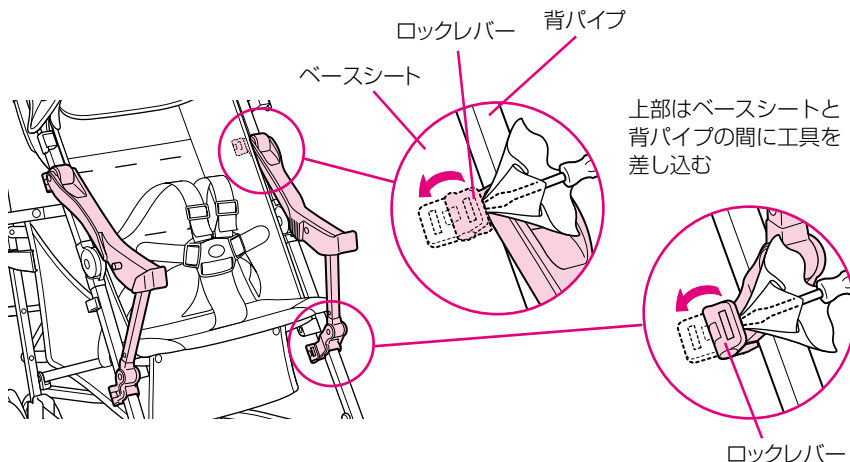
- ・取りはずしたときは、アタッチメントや取り付けガイドに破損などの異常がないことを確認してください。取り付けたときにアタッチメントがはずれて、ベビーシートが落ちるおそれがあります。
- ・アタッチメントを使用しないときは、お子さまの目の届かないところに保管してください。指や手をはさんだりするおそれがあります。



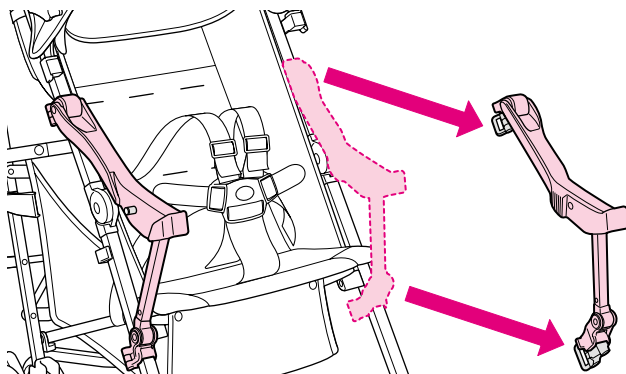
- ・取りはずすときは、そばに人(特に小さいお子様)を近づけずに行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- ・取りはずすときは、マイナスドライバーなどの工具の先端に、必ず布などを巻いてケガをしないよう十分注意してください。
- ・工具の先端が鋭利な場合、アタッチメントやベビーカーが傷つき、その傷によりケガをするおそれがあります。工具の先端に必ず布などを巻いて使用してください。

ベビーシートを取りはずした状態で行います。

1. アタッチメント上下のロックレバーのロックを2カ所はずす。



2. 前方へ引っ張り、取りはずす。



反対側も同様にして取りはずしてください。

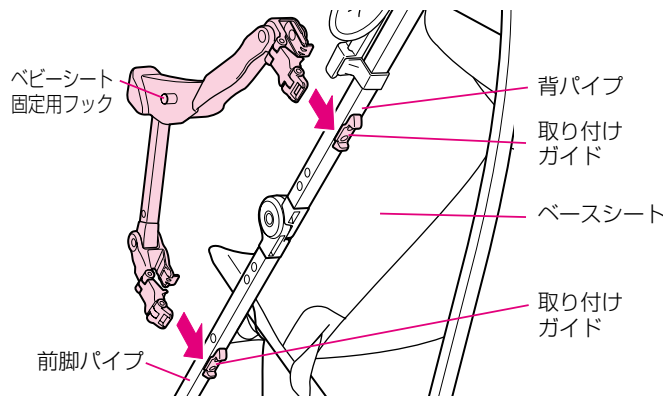
アタッチメントの取り付けかた



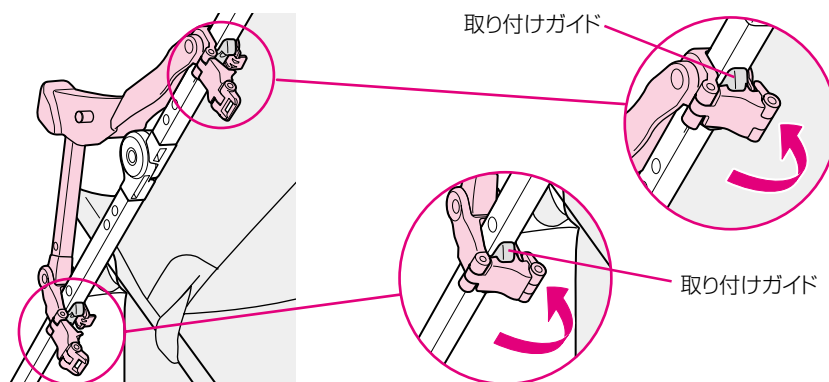
- ・取り付ける前に、アタッチメントや取り付けガイドに破損などの異常がないことを確認してください。取り付けたときにアタッチメントがはずれて、ベビーシートが落ちるおそれがあります。
- ・アタッチメントは必ず取り付けガイドにあわせて取り付け、確実にロックされていることを引っぱって確認してください。アタッチメントがはずれたり、ベビーシートが落ちるおそれがあります。
- ・アタッチメントは必ず左右とも取り付けてください。ベビーシートが正しく取り付けられず、落ちるおそれがあります。

1. アタッチメントのベビーシート固定用フックが外側になるようにして上下のロックレバー部を背パイプと前脚パイプにかぶせる。

※ 上部はベースシートをはさまないようにしてください。



2. 取り付けガイドを巻くように上下のロックレバーのロックを確実にとめる。

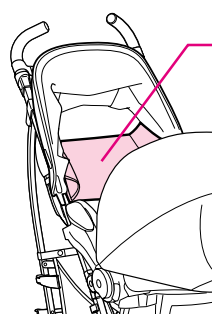


反対側も同様にして取り付けてください。

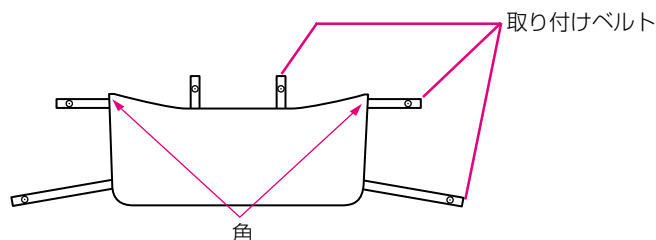
3. アタッチメントは必ず取り付けガイドにあわせて取り付けてください。取り付け後、アタッチメントが確実にロックされていることを引っぱって確認してください。

シート汚れ防止カバーの取り扱いかた

シェルモードで使用するとき、お子さまの足がベビーカー本体のベースシートや着脱シートの背もたれに触れる場合は、シート汚れ防止カバーをお使いください。



シート汚れ防止カバー



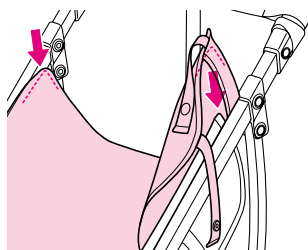
取り付けベルト

角

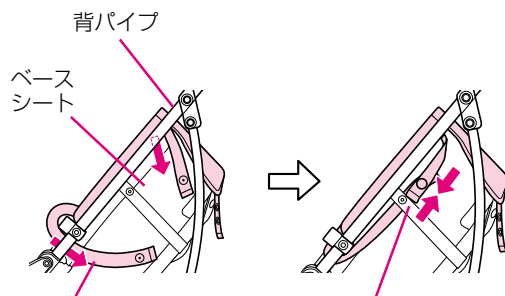
取り付けかた

- ベビーシートを取りはずした状態で行います。
- シート汚れ防止カバーを取り付けるときは幌を取りはずすか、幌の後方と左右のホックをはずしてください。（イラストは幌をはずしてあります。）

1. シート汚れ防止カバーの上部の角を、ベースシートの背もたれ上端にかぶせる（左右）。



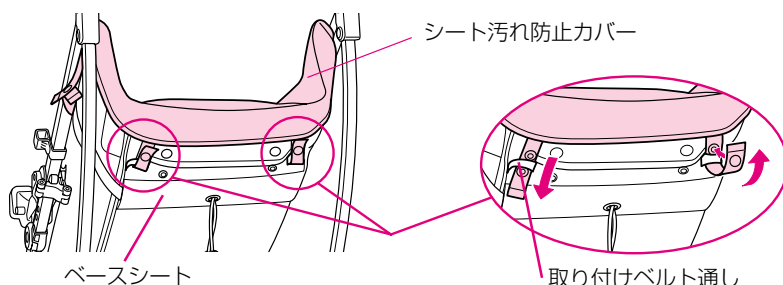
2. 側面上下の取り付けベルトをベースシートと背パイプの間に通し、ホックでとめる（左右）。



※幌ホルダーの下側を通します。

※幌をとめるホックの付いたベルトの内側を通し、取り付けベルトどうしをホックでとめます。

3. 後方の取り付けベルトを、ベースシート裏側の取り付けベルト通しに通してホックをとめる（左右）。



シート汚れ防止カバー

ベースシート

取り付けベルト通し

※シート汚れ防止カバー取り付け後、幌を正しく取り付けてください。

ベースシート裏側の取り付けベルト通しは、着脱シートを取り付けるときにも使用します。シート汚れ防止カバーと併用するときは、1つの取り付けベルト通しに、2本の取り付けベルトが通ります。

取りはずしかた

ノーマルモードベビーカーとして使用するときには、必ずシート汚れ防止カバーを取りはずしてください。
※取り付けと逆の手順で行います。

1. 後方の取り付けベルトのホックをはずし、取り付けベルト通しから抜く。
2. 両側面のホックをはずし、下側の取り付けベルトを着脱シートと背パイプの間から抜き取る。

ノーマルモードベビーカーの使いかた

最初にアタッチメントを取りはずしてください。取りはずしかたは17ページをご覧ください。

注意 アタッチメントはベビーシートを取り付けるための専用部品です。ノーマルモードで使用するときは、必ず取りはずしてください。過度の力が加わると、はずれたり破損するなどしてケガをするおそれがあります。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

警告

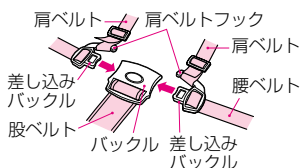
- ・お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- ・シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜けださないようにしっかりと締めてください。
- ・お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- ・肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右の肩ベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトを締めるとき

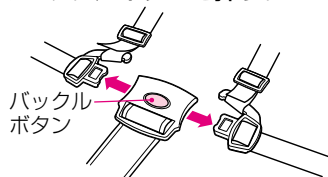
1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトを合わせる。
2. 股ベルトを引き出し、肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。



お子さまへの装着のしかた

シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

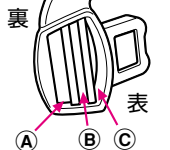


・長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」(21ページ)をご覧ください。確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

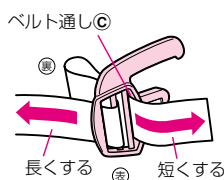
シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

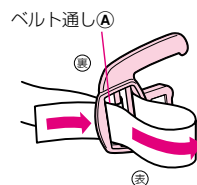
差し込みバックルのベルト通し(A)(B)(C)



2. 腰ベルトを左右に引っばり、ベルトの長さを調節する。

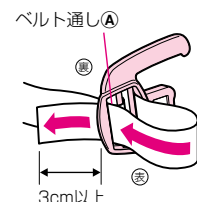


1. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しAからはずす。



3. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しAから裏側に通す。

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。



こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない

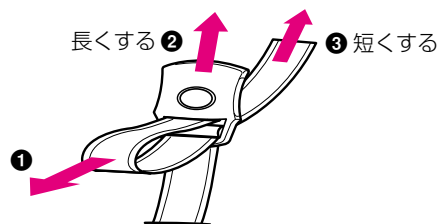
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。

注意

長さを調節後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに①調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、②バックルを引っ張り、短くするときには、③ベルトの端を引っ張る。

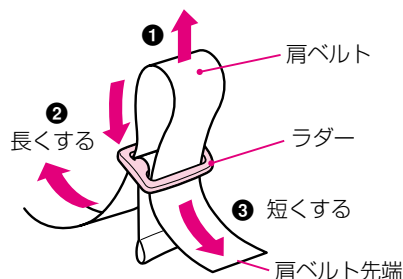


股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに①調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、②の方向に引っ張り、短くするときには、③の方向に引っ張る。

※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。

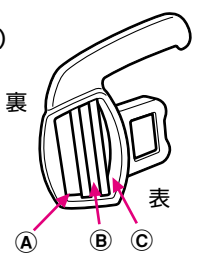


シートベルトの取り付けかた

腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

腰ベルトの長さ調節やお手入れのときに差し込みバックルをはずしたら、下記のように取り付けてください。

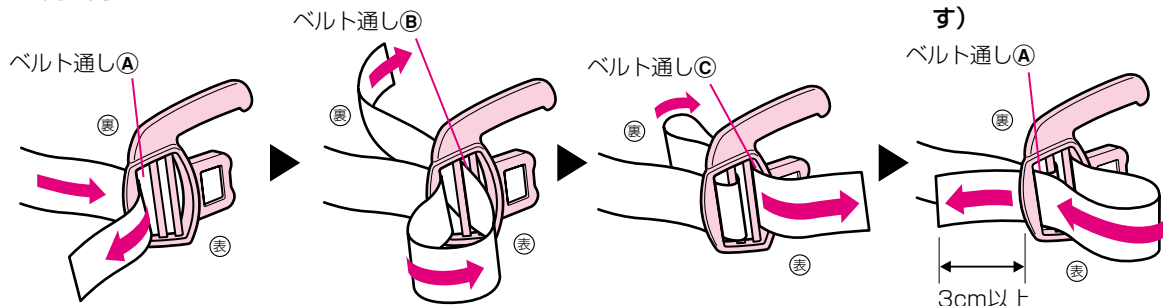
差し込みバックルの
ベルト通し(A)(B)(C)



警告

差し込みバックルの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

- バックルのベルト通し①に腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。
- バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し②から裏側に通す。
- バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通し③から表側に通す。
- バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し①から裏側に通す。(ベルト通し①には腰ベルトが2重に通ります)



※ 腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

肩ベルト・背板の取りはずしかた・取り付けかた

肩ベルトは高さ調節や洗濯のため、取りはずすことができます。

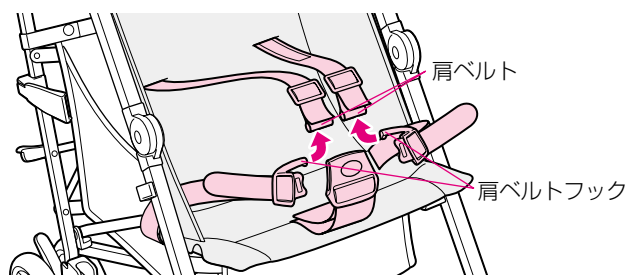


肩ベルトの取りはずし・取り付け時には、お子さまを近づけずに行ってください。
中央の穴はヘッドパッド取り付け用の穴です。肩ベルトを通さないでください。
背板先端部の折れ目に指等をはさまないようご注意ください。

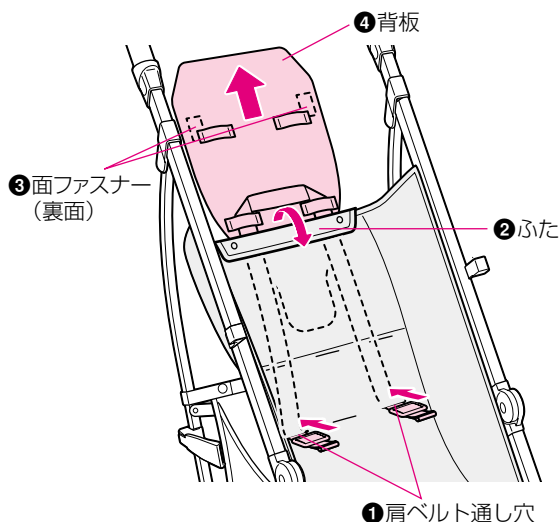
ここでは、幌を取りはずした状態で説明しています。

取りはずしかた

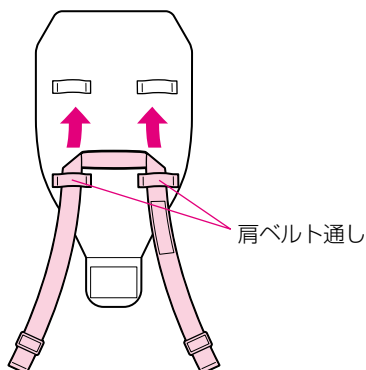
1. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)からはずす。



2. ①肩ベルトをベースシートの肩ベルト通し穴に入れる。
②ベースシート裏側上部のふたのホックをはずす。
③背板裏面の面ファスナーをはずす。
④ベースシートの中から背板を引き出す。



3. 肩ベルトを肩ベルト通しから抜き、取りはずす。



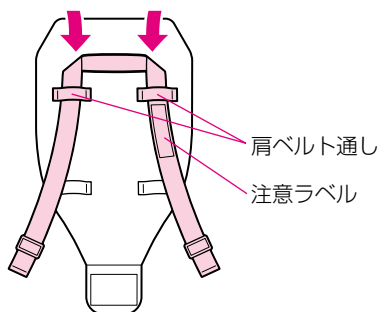
取り付けかた



注意

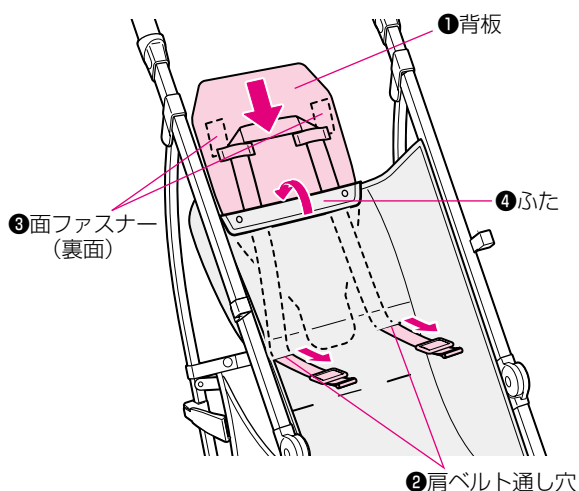
- ・お子さまの成長にあわせて、取り付ける高さを調節してください。お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。
- ・肩ベルトを背板の上の肩ベルト通しに通した場合は、ベースシートの上の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。また、下の肩ベルト通しに通した場合は、ベースシートの下の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。肩ベルトの長さが足りなくなるなど、お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。
- ・肩ベルトは注意ラベル側を表にして使用してください。

1. 肩ベルトを背板の肩ベルト通しに上から通す。



- ① 背板をベースシートに差し込む。
- ② 肩ベルト通し穴から肩ベルトを引き出す。
- ③ 背板裏面の面ファスナーをベースシートにとめる。
- ④ ベースシートの上部のふたを閉めてホックをとめる。

面ファスナーが確実にとまっていることを確認してください。



- ・背板の先端が折れないように差し込んでください。
- ・エッグショックパッド用ポケットに引っかけないようご注意ください。
- ・背板を半分程度差し込んだ状態で行うと、肩ベルトが引き出しやすくなります。

肩ベルトの高さの決めかたの目安

お子さまの肩が、下の肩ベルト通し穴と上の肩ベルト通し穴の間くらいの高さになったら、上の位置に変更してください。

リクライニングシートの使いかた



- ・リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたまま、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ・リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

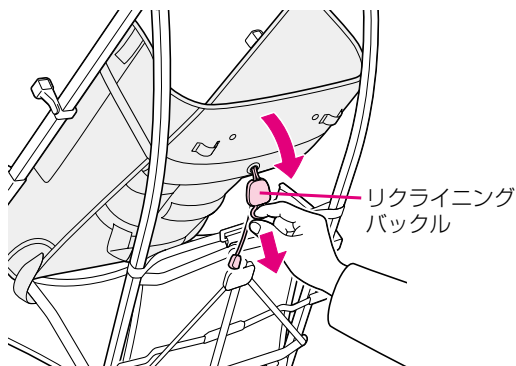


- ・ひとりでおすわりができないお子さまの場合は、ヘッドパッドを必ず装着し、背もたれを1番倒した状態でご使用ください。
- ・ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。非常に危険です。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- ・お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、他方の手でお子さまの体を支えてください。

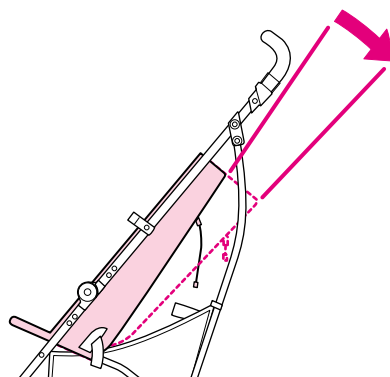
背もたれの倒しかた

- ※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず片方の手でお子さまの体を支えてください。

1. 片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っばる。

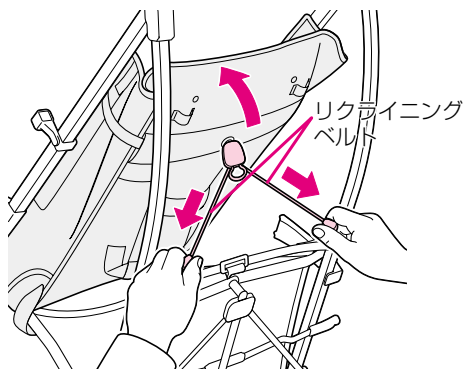


2. 背もたれを倒す。



背もたれの起こしかた

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っばる。



お子さまの体重を背もたれにかけたまま、リクライニング操作を行わないでください。リクライニングバックル、ベルトが破損するおそれがあります。

着脱シートの取り扱いかた

※着脱シートを取り付けなくても、ベビーカーを使用できます。

※着脱シートはリバーシブルタイプですので、裏返して両面取り付けることができます。

※お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、ベースシートおよび着脱シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。



- ・やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- ・着脱シートを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全だとケガや破れなどの原因となります。

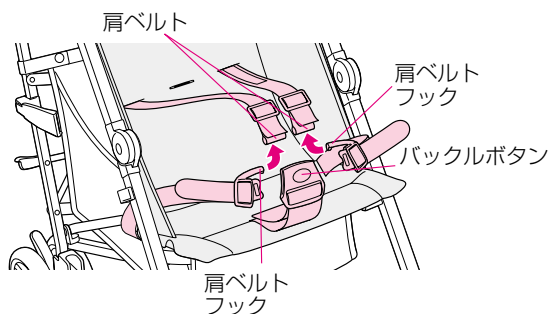
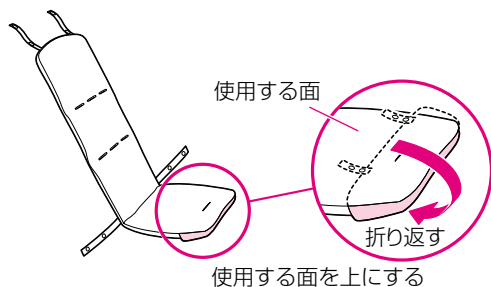


- ・中央の穴は、ヘッドパッド取り付け用の穴です。肩ベルトを通さないでください。(梱包時には、ヘッドパッドが取り付けられています。)
- ・ベビースートのインナークッションはベビーカーには取り付けできません。

取り付けかた

1. 着脱シートの使用したい面に、前端的の袋状の部分がある場合は、裏側に折り返す。

2. バックルボタンを押して、バックルから差し込みバックルをはずす。次に差し込みバックルの肩ベルトフックから左右の肩ベルトをはずす。

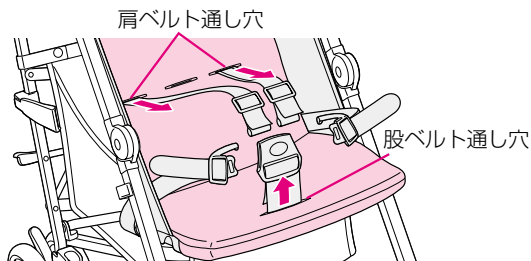
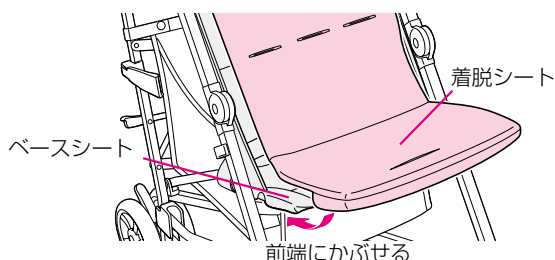


着脱シートはリバーシブルタイプですので、裏返して両面取り付けることができます。

- ・裏面にしてヘッドパッドを使用するときは付けなおしてください。
- ・ヘッドパッドの取り扱いかたは27ページをご覧ください。

3. 着脱シートをベースシートに乗せ、前端的の袋状の部分をベースシート前端にかぶせる。

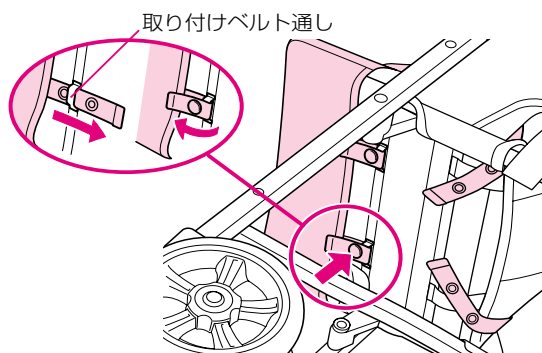
4. 肩ベルト・股ベルトを着脱シートのベルト通し穴から表に引き出す。



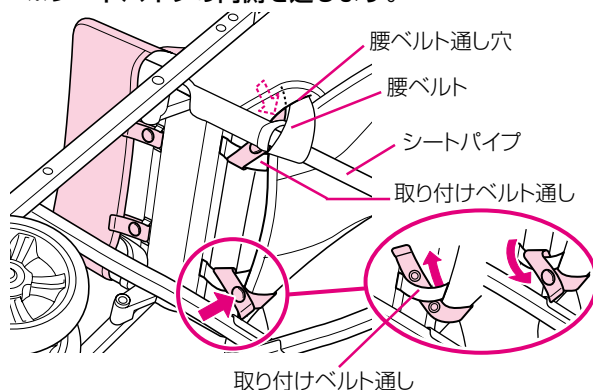
着脱シートの取り扱いかた

カゴをはずしてベースシートの座面を下側から見たイラストです。

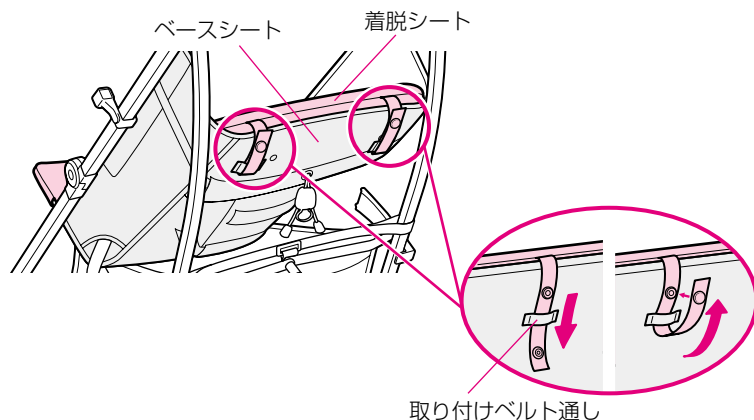
5. 前端的の袋状の部分の取り付けベルトを座面裏前方の取り付けベルト通しに通してホックをとめる(左右)。



6. 左右の取り付けベルトをベースシートの腰ベルト通し穴に通し、座面裏の取り付けベルト通しに通してホックをとめる(左右)。
※シートパイプの内側を通します。



7. 着脱シート上部の取り付けベルトをベースシート裏側の取り付けベルト通しに通してホックをとめる(左右)。



ベースシート裏側の取り付けベルト通しは、別売の専用フットマフを取り付けるときや、シェルモード時のシート汚れ防止カバーを取り付けるときにも使用します。着脱シートと併用するときは、1つの取り付けベルト通しに、2本の取り付けベルトが通ります。

※着脱シートの表にする面により、取り付けベルトの通す方向が逆になります。

注意

肩ベルトをベースシートの上の肩ベルト通し穴に通した場合は、着脱シートの上の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。また、下のベルト通し穴に通した場合、着脱シートの下の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。肩ベルトの長さが足りなくなるなど、お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。

はずしかた

※取り付けと逆の手順で行います。

1. 6カ所の取り付けベルトのホックをはずし、ベースシートの取り付けベルト通しから抜く。
2. 肩ベルト・股ベルトを着脱シートのベルト通し穴から引き抜く。

ヘッドパッドの取り扱いかた

ヘッドパッドは眠ったときなど不安定になる低月齢のお子さまの頭をささえます。

※肩ベルトを下の高さで使う期間中は、ヘッドパッドを必ずご使用ください。

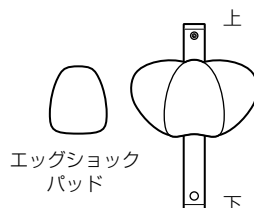
※ただし、1番高くしてもお子さまの耳がヘッドパッド中心よりも高くなるときは使用を中止してください。



おすわりができないお子さまの場合は、ヘッドパッドを必ず装着し、リクライニングを倒した状態でご使用ください。

取り付ける前に

- ・ヘッドパッドは梱包時には着脱シートに取り付けてあります。
- ・ヘッドパッドにはエッグショックパッドを入れて使うことができます。(梱包時には入れてあります。)
- ・ベビーシートのヘッドサポートおよびエッグショックパッドは、取り付けできません。



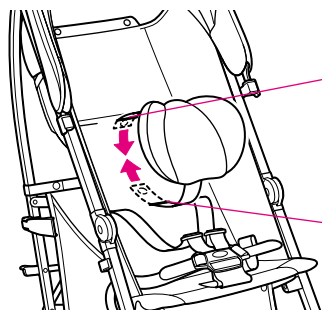
● シェルモードベビーカーとして使用するときには、変形を防ぐため取りはずしてください。

● ベビーカーを折りたたむときは、ヘッドパッドを1番高い位置に上げてください。

ベースシートへの取り付けかた

ヘッドパッドの上下を確認して、取り付けベルトをベースシート上下のヘッドパッド通し穴に通し、ベースシートの内側でホックをとめる。

※ベースシート裏側上部のふたのホックをはずして手を入れて行ってください。



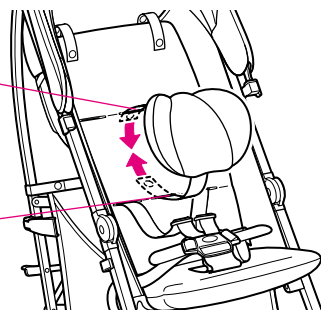
ヘッドパッド
通し穴

ヘッドパッド
通し穴

着脱シートへの取り付けかた

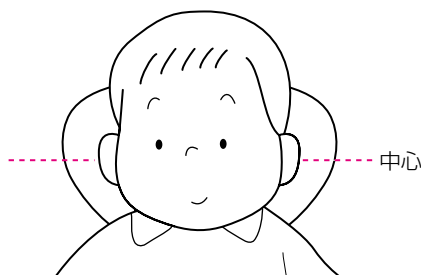
ヘッドパッドの上下を確認して、取り付けベルトを着脱シート上下のヘッドパッド通し穴に通し、着脱シートの裏側でホックをとめる。

※着脱シートをベビーカーに取り付けてある場合は、上部の着脱シート取り付けベルトをはずして行ってください。



高さ調節

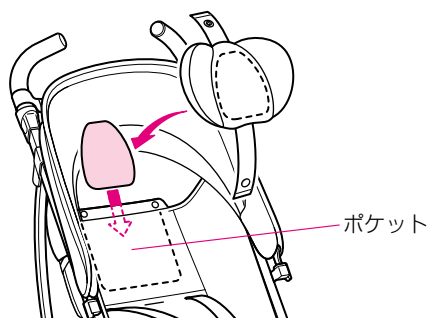
お子さまの成長にあわせてヘッドパッドの高さを調節してください。ヘッドパッドの中心が耳の高さになるようにあわせてください。



エッグショックパッドの使いかた

肩ベルトを上段で使うときは、ヘッドパッドを取りはずしてください。

エッグショックパッドのみ、ベースシート内のエッグショックパッド用ポケットに入れて使うことができます。



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

● 着脱シート、ヘッドパッド、幌内カバー、ショルダーストラップ、肩ベルト、シート汚れ防止カバー

- 30℃以下の液温で手洗いしてください。
- 洗濯機は使用しないでください。
- きつてもみ洗いはしないでください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

● ベースシート、幌、買い物カゴ、腰ベルトのお手入れ

- 幌や買い物カゴは液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ ベースシート、腰ベルトは取りはずすことはできません。

※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

※ 洗濯の際は、天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酸素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。

※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

● エッグショックパッドについて

- エッグショックパッドは洗濯できません。
- ヘッドパッドを洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

車体の清掃について

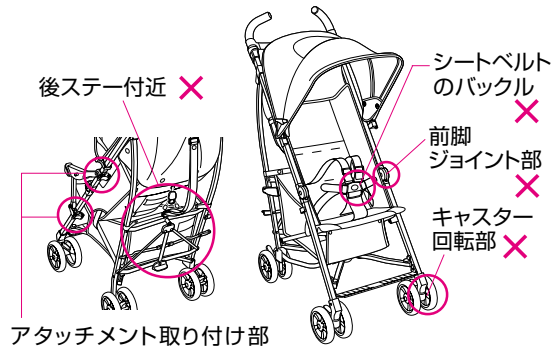


車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 下に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた



火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、車輪を下にして寝かせてください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後ステーに貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロットNoをお知らせください。
- 締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271
TEL.(048) 797-1000
FAX.(048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center)／西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06) 6536-0456
FAX.(06) 6536-4468

廃棄方法について

- お住まいの各自自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

便利なオプション(別売り)

キューレットミューラー専用バッグ



1kgまでの荷物が入れられます。
キューレットミューラー以外のベビーカーには
取り付けないでください。

キューレットミューラーシリーズ用
コンパクトレインカバー



キューレットミューラー専用
フットマフ



寒いときの防寒用アクセサリーです。
シェルモード時には使用できません。

キューレットミューラー用
ホイールキャップセット



キューレットミューラー用
着せ替えシートセット



着脱シートと幌内カバーの
セットです。

詳しくはカタログまたはコンビホームページ <http://www.combi.co.jp/>をご覧ください。

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品＆子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン

アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物

コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！1ポイント＝1円として使えます。

※詳しくはWebサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。

ご入会は「コンビタウン」Webサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら ⇒ <http://www.combibaby.com/>

コンビタウン

検索



コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当
〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

※ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>

受付時間：10時～17時（日、祝祭日、年末年始を除く）
TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109
受付時間：10時～17時（土、日、祝祭日、年末年始を除く）
TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468